

消防設備等(南部及び西部)  
及び発電機地下タンク点検業務委託

特 記 仕 様 書

令和 8 年度

岡山県広域水道企業団

# 目次

## 第1章 共通事項

第1条	適用範囲	1
第2条	委託概要	1
第3条	履行場所	1
第4条	履行期間	1
第5条	関係法規の順守	2
第6条	連絡体制	2
第7条	一般事項	2
第8条	受注者の負担	2
第9条	疑義	2

## 第2章 消防設備等(南部及び西部)点検業務委託

第10条	点検内容	3
第11条	点検対象項目	4
第12条	その他	6

## 第1章 共通事項

### 第1条（適用範囲）

本特記仕様書は、岡山県広域水道企業団（以下「甲」という。）と受注者（以下、「乙」という。）が契約を締結する「消防用設備等（南部及び西部）及び発電機地下タンク点検業務委託」に適用する。

### 第2条（委託概要）

本委託は消防用設備等について消防法第17条の3の3で定める定期的な機能点検および総合点検を行うものである。また、地下タンクにおいては消防法第14条の3の2で定める定期的な点検を行うものである。さらに、建築防火設備（防火戸等）について建築基準法第8条により正常に維持されていることを確認する。

### 第3条（履行場所）

本委託の履行場所は、以下に示す場所とする。ただし、各履行場所における具体的な点検項目については第11条のとおりとする。

#### （1）南部系

1)岡山市東区寺山650（岡山浄水場）

①管理棟

②薬注棟

③導水ポンプ棟

④送水ポンプ棟

⑤電気棟

⑥電気棟 西側 屋外地下タンク

#### （2）西部系

1)総社市楨谷地内 総社第1中継ポンプ場

2)総社市久代地内 総社第2中継ポンプ場

3)総社市新本地内 総社第3中継ポンプ場

4)加賀郡吉備中央町岨谷地内 賀陽第1中継ポンプ場

5)加賀郡吉備中央町岨谷地内 賀陽第2中継ポンプ場

6)加賀郡吉備中央町上竹地内 賀陽第3中継ポンプ場

7)井原市美星町宇戸地内 美星第1中継ポンプ場

8)井原市美星町宇戸地内 美星第2中継ポンプ場

### 第4条（履行期間）

履行期間は、契約締結日から令和9年3月25日までとする。ただし、現場における点検時期は下記のとおりとし、事前に甲の担当職員と日程調整を行った後に実施すること。

＜機器点検＞

年1回 8～9月の間に実施

<機器点検及び総合点検>

年1回 2～3月の間に実施

第5条（関係法規の遵守）

受注者は、業務の履行にあたり、関係法令、条例およびその他の諸規程を守り、作業の円滑な進捗を図ること。

第6条（連絡体制）

1. 乙は、本委託を履行するにあたり甲およびその他関係機関との連絡を保たなければならない。
2. 乙は、本委託の履行にあたり甲もしくはその他関係機関への届出等を行うにあたっては、これを遅延なく実施しなければならない。

第7条（一般事項）

1. 乙は、委託業務関係書類を甲の担当職員に提出しなければならない。なお提出書類は業務委託一般仕様書 第36条のとおりとする。また、これと別に岡山浄水場管理棟1階事務室及び3階中央監視室、情報処理室に点検業務のため立入る予定の作業員について事前に甲の担当職員へ届出ること。
2. 点検業務等は、対応する消防設備の点検を行うことのできる資格を保有する熟練された技術者を派遣し一切の点検及び試験等を行うと共に、甲の担当職員が技術的な問い合わせを行った場合はそれに回答しなければならない。なお、甲の担当職員は点検および試験等の実施時には立会いを行うものとする。
3. 点検業務等の実施にあたって労働安全衛生法で定められていることを遵守し労働災害を防止することはもちろん、危険予知活動等により災害防止措置を十分に行うこと。
4. 本仕様書に明記していない事項であっても、点検及び試験等で当然必要と認められるものは、受注者において無償で実施するものとする。
5. その他詳細については、担当職員と協議の上、その指示に従うものとする。

第8条（受注者の負担）

受注者は、次の各号に要する費用について負担しなければならない。

- (1) 軽易な事項で本特記仕様書に明記していない事項に関する、作業上あるいは使用上欠くことのできない材料及び作業の費用。
- (2) 業務実施中、誤って他の既設構造物を損傷させた場合における補修費。
- (3) その他、受注者の責めに帰する事項に要する費用。

第9条（疑義）

本特記仕様書に明記されていない事項あるいは本仕様書に疑義が生じた場合は、協議して甲の担当職員の指示に従うものとする。

## 第2章 消防設備等(南部及び西部)及び発電機地下タンク点検業務委託

### 第10条 (点検内容)

本委託における点検業務の回数および内容は以下のとおりとする。

#### 1) 消火器具点検試験

点検回数：年2回（機器点検、機器点検及び総合点検）

対象設備：蓄圧式消火器(詳細は別紙消火器台帳のとおり)

(消火器は設置後5年経過していないため外形点検のみ行う。)

#### 2) 屋内消火栓設備点検試験

点検回数：年2回（機器点検、機器点検及び総合点検）

対象設備：消火栓

起動用スイッチ

加圧送水装置

水源、補給水槽

放水試験（総合点検実施時のみ実施）

(消火栓ホースは製造年から10年経過していない為、耐圧性能における点検は行わない。)

#### 3) 自動火災報知設備点検試験

点検回数：年2回（機器点検、機器点検及び総合点検）

対象設備：受信器

副受信器

中継器

発信器

表示灯

音響装置

熱感知器

煙感知器

(試験機能を有する感知器については受信器記録装置の記録により確認する)

常用電源・予備電源

#### 4) 誘導灯及び誘導標識点検試験

点検回数：年2回（機器点検、機器点検及び総合点検）

対象設備：誘導灯

#### 5) ガス漏れ火災警報設備点検試験

点検回数：年2回（機器点検、機器点検及び総合点検）

対象設備：ガス漏れ警報器

中継器

6) 排煙設備点検試験(建築防火設備)

点検回数：年1回(年次点検)

対象設備：防火戸

電動シャッター

排煙窓

上記設備の動作専用煙感知器

(煙感知器については、機器点検、機器点検及び総合点検の年2回)

7) 発電機用重油地下タンク及び配管の漏洩点検試験(危険物施設)

点検回数：年1回(年次点検)

対象設備：重油地下タンク

重油配管

8) 消防設備配線点検試験

点検回数：年1回(総合点検)

対象設備：絶縁抵抗及び配線点検

第11条(点検対象項目)

各履行場所における点検対象項目は以下の通りとする。

(1) 岡山浄水場

① 管理棟

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 屋内消火栓設備点検試験
- 3) 自動火災報知設備点検試験
- 4) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 5) ガス漏れ火災警報設備点検試験
- 6) 排煙設備点検試験
- 7) 消防設備配線点検試験

② 薬注棟

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 屋内消火栓設備点検試験
- 3) 自動火災報知設備点検試験
- 4) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 5) 消防設備配線点検試験

③ 導水ポンプ棟

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 消防設備配線点検試験

④ 送水ポンプ棟

- 1) 消火器具点検試験

- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 消防設備配線点検試験

⑤電気棟

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 発電機用重油地下タンク及び配管の漏洩点検試験
- 5) 消防設備配線点検試験

(2) 西部系場外施設

①総社第 1 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 消防設備配線点検試験

②総社第 2 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 消防設備配線点検試験

③総社第 3 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 3) 消防設備配線点検試験

④賀陽第 1 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 自動火災報知設備点検試験
- 3) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 4) 消防設備配線点検試験

⑤賀陽第 2 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 3) 消防設備配線点検試験

⑥賀陽第 3 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 誘導灯及び誘導標識点検試験
- 3) 消防設備配線点検試験

⑦美星第 1 中継ポンプ場

- 1) 消火器具点検試験
- 2) 誘導灯及び誘導標識点検試験

3) 消防設備配線点検試験

⑧美星第2中継ポンプ場

1) 消火器具点検試験

2) 誘導灯及び誘導標識点検試験

3) 消防設備配線点検試験

第12条 (その他)

(1) 誘導灯点検時に蛍光灯が切れていた場合は、蛍光灯交換を行うこと。またバッテリー切れを発見した場合は、その場所を図示し、バッテリー型式を甲の担当職員へ報告するとともに、適宜バッテリー交換を行うこと。なお交換のための蛍光灯及びバッテリーについては、企業団より別途支給する。

(2) 消火器点検の結果、不良判定となり取替が必要な消火器が発生した場合は、新規消火器と適宜交換すること。また、併せて管理番号シールを貼り付けること。なお、新規消火器及び管理番号シールについては、企業団より別途支給する。

(3) 点検実施後は、各機器ごとに点検済証シールを貼付すること。

(4) 防火戸、排煙窓のある施設についてはその作動点検を実施すること。